

令和3年3月22日

3月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木県では好天が続き、原木生産、各共販所への入荷ともに順調である。荷動きは良く、元落も極めて少ない。スギ柱材・中目材は引き合いがあり価格は保合。ヒノキ材は入札にバラツキがあり、弱保合で推移。

群馬では積雪の影響もなく、出材は順調である。原木不足は解消されたが、例年に比べて少ない。製材工場の原木在庫は増加し満杯状態。細かい注文で製材効率は悪いが、通常通りの操業。見積は減少傾向にあるが、受注残があるため3月は多忙である。製品在庫は少なく、特に羽柄材、割物類、仮筋交、筋交類の不足が深刻で余剰在庫はない。製品価格は全体的に値上げの方向である。安価な物はなく値段も通りやすい。

2. 米材

カナダ・米国とも好天に恵まれ、原木の出材は順調である。港頭在庫は低水準で推移しているが、輸出需要に見合う供給は行われている。米マツ IS 級並の対日輸出価格(推定)は3ヵ月連続の横ばい後、3月は\$30アップの\$990になった模様。一方、米国の製材品、構造用パネルは史上最高値を更新中であり、価格高騰に歯止めが効かない状況。ランダムレングス紙発表の15種平均価格(2/26)は\$1,016/Mとなり、2月頭に比べ7.5%の上昇。価格高騰の要因は好調な住宅市場と制約された生産能力である。このため製品ほどには原材料は逼迫しておらず、原木価格の値上がりは製材品に比べて緩やかである。対日向け製材品価格も\$1,000/Mを突破するものと予想される。中国からの原木・製材品の引き合いが強まっており、中国向け価格は急騰。

1月原木入荷は169千 m^3 となり、2020年平均月間入荷比12%増、カナダからの入荷が対前年比倍増の51千 m^3 となった。出荷は144千 m^3 で2020年平均月間出荷比6%減。在庫は増加し168千 m^3 、在庫率は1.14ヵ月。東京木材埠頭の2月入荷は15千 m^3 (前月比17.8%増)、出荷は12千 m^3 (同10.5%減)、在庫は24千 m^3 (同12.9%増)。カナダ、米国からの製材品供給の減少により国内製材工場への需要が増加しており、稼働は順調。米材最大手が3/1から値上げを発表した。製材品の第2・四半期のオファーが出始めているが、数量は半分程度で入荷も遅れているため、先行きの資材不足が懸念される。

3. 南洋材

サラワク州では春節後、天候がやや良くなり、原木生産量は徐々に回復。2月はインド向けの船はなく台湾向けが1船のみ。PNGでは悪天候に加え、マレーシア等からの出稼ぎ労働者が帰国し、戻って来ないため、労働力不足で原木生産量は激減している。FOB価格は前月に引き続き上昇。PNGから中国向け主力船腹28型の運賃が\$10上昇し、中国の国内市況を押し上げている。中国の港頭在庫が減少しており、値上げは通りやすい地合いになっている。3月予想の原木入荷ゼロ、出荷3千 m^3 、在庫は7千 m^3 、製材品入荷は30千 m^3 。

4. 北洋材

産地では本来なら、冬伐り原木が入荷し、製材生産量は増加するはずだが、新型コロナウイルスの影響もあり、生産量の回復までには至っていない。シベリア・極東とも中国向けが好調で価格を押し上げている。アカマツ野縁製品の産地価格は昨年最高値を更新し\$600に向かう勢い。アカマツ原板も完成品の価格上昇と中国からの引き合い増で価格は上昇している。国内製材工場では原板を確保するためには大幅な価格上昇を飲まざるを得ない状況にある。受注は米マツ小割の代替でDIYルートも好調である。現地挽きアカマツ野縁製品は上級から下級グレードまで全ての流通在庫が不足しており、上級グレードは再び60,000円/ m^3 を超えて70,000円に向かう勢いである。国産完成品は一般ルート向けの引き合いが増加しているが、応えきれていない。栈木も年度末工事があるため引き合いは極めて強い。3月予想の原木入荷2千 m^3 、出荷2千 m^3 、在庫は9千 m^3 。製品入荷(東京+川崎)20千 m^3 、出荷17千 m^3 、在庫24千 m^3 。

5. 合板

合板用の国産材原木は積雪等の影響で不足感が出ており価格も強含み。ロシア材は来年から原木輸出が禁止になるが、単板での仕入れが主であるため大きな問題はない。米材は米国内向けが好調で強含みで推移している。南洋材は現地の悪天候が続いているが、大きな問題はない。

1月の国内合板生産量は25.2万 m^3 、うち針葉樹合板は24.5万 m^3 、出荷量は24.9万 m^3 で在庫量は10.8万 m^3 となり、うち構造用合板の在庫は9.0万 m^3 と減少した形になった。針葉樹合板はメーカー在庫量の少ない状況が続いているが、引き合いが少なくなっており、全体的に落ち着き始めている。価格は先行き横ばいで推移すると見られる。輸入合板はほとんどの品目で品薄感が強く、価格は強含みがしばらく続くだろう。1月の合板輸入量は21.3万 m^3 と昨年5月以来の20万 m^3 超えとなった。マレーシア産は昨年の平均を上回る入荷

となった。インドネシア産は極端に少なかった前月に比べ大幅に回復した。インドネシアでは天候不順と旺盛な需要を背景に原木の不足感が強く、合板価格も上昇している。マレーシアでは天候が回復してきているが、各メーカーの原木在庫が少なく限定的な生産量になっている。

6. 構造用集成材

2月のラミナ入荷は通常通りで3月も同様の見込みである。3月以降はRWラミナの不足感が強まるだろう。ラミナの第2・四半期交渉が始まっている。欧州内ほか需要国からの引き合いの強さやコンテナフレートの上昇により値上げ提示は確実である。またオフア量も絞られる見込み。輸入集成材もラミナ同様に第2・四半期交渉から大幅な値上げが予想される。夏頃まで国内の価格も段階的に引き上げられるだろう。

7. 木材チップ

チップ原木の入荷はバイオマス発電、製紙用とも引き合いは強いが、入荷は低調。解体材の入荷は新型コロナの影響での発生量減、大型バイオマス発電所の稼働等による入荷量減少でタイト感が依然として残っている。製紙用の国内針葉樹チップは使用量は増加傾向にあり、各社とも増集荷体制を継続。燃料用チップも引き続き増集荷の体制にある。国内チップ工場では入荷量が安定せず、原木、解体材とも在庫は少ない。

8. 市売問屋

米材、ロシア材、欧州材の値上げが徐々に浸透してきているが、材木店は仕事が少ないため、仕入れを急ぐ気配は見られない。スギ、ヒノキともKD製品が不足気味。都内では国産材構造材は増改築分しか動かない。外材造作材のスプルース、ピーラーが品不足といわれているが、在庫手当てに急ぐ材木店は少ない。

9. 小売

2月下旬から工務店が急ぎの材料を引き取るケースが増えてきた。町場の工務店では依然リフォームが中心になっている。スギ構造材は外材の入荷減により代替需要が出てきている。東北地域の積雪の影響等で入荷が遅れている品目もある。外材構造材では米加材、欧州材の入荷減が続いており、集荷に苦労している。梁材では無垢材、集成材ともに品薄感がある。羽柄材では欧州材、米加材、ロシア材とも入荷が少なく、要求されている物の手当てが難しい状況である。タルキをはじめ国内挽き製品も入荷に時間がかかっている。

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	↘	→	↘
北洋材	丸太	→	→	→
	製材品	↗	→	↗
南洋材	丸太	↘	↘	↘
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
→	↘	↘	↘

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	→
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	↘
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	↘
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	↘
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ間柱 (KD) 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×3.65m	→
			ヒノキ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
ヒノキ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→			
ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→			
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	↗
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ コースト	↗
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角 (KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↗
			SPF 2×4 J-Grade R/L	↗
			米ヒバ土台角 (GR) Std&Btr 4・13/16” 13’	→
米マツ平角 (KD) 特等 10.5×24.0×4m	↗			
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用 メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)	→
		東京・問屋店頭 渡し価格	同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ (KD) 30×40上級 アカマツ (KD) 16×40上級	↗
		東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↗
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ スギ 無化粧 JAS 5プライ	↗
		//	10.5×10.5×2.98m	↗
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	↗
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	↗
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	↗
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↗